

2020 年度 第 1 回 構造物の生産性向上技術研究協議会(P 協議会)

議事録(案)

議事録担当:坂本(広島工業大学)

- 日時:2020 年 8 月 27 日(木), 15:15~17:00
- 場所:近未来コンクリート研究会 会議室
(広島市中区東千田町 2-3-26 福德技研株式会社 3F)
- 出席者:13 名(別紙 1 参照)

■P 協議会議事録

1. 特別講演

題目:「RC 構造物の診断に必要な各種分析技術」
講師:株式会社中研コンサルタント

2. 前回議事録の確認

- ・2019 年度第 3 回 P 協議会(2019/10/28)の議事録確認を行った。

3. 活動概要

協議会の背景および目的,これまでの活動概要,今後の活動の方向性などについて確認した後,協議会参加者の近況について伺った。

- ・2018 年度は,課題抽出と要望・提案の検討および最新技術の動向調査を中心に行い,2019 年度は,それらに加え,協議会参加者による事例紹介や課題紹介を行ってきた。
- ・今後は,これまでの議論の内容を踏まえ,第二フェーズとして,現状の現場に即座に適用できる課題解決のための提案や改革などについて検討を進める。
 - ⇒コンクリート構造物の生産性向上技術についてのアンケート調査を実施し,調査結果を分析し,分析結果を拠り所とした提案や改革などを具体化していく。
- ・協議会参加者には,気軽に事例紹介や課題紹介を行っていただき,これまで以上に,協議会を情報交換や議論の場として利用していただきたい。
- ・建設業への新型コロナウイルス感染症の影響について
 - ⇒圧送業では,新型コロナウイルス感染症の影響で,帰国した外国人労働者(特にベトナム人)が日本に戻れなくなり,人手不足が生じている。
 - ⇒ステイホームのため現場職員が不足している。
 - 省力化のため,消波ブロックを空撮して横断測量する提案が国土交通省に認められ,現在実施中である。

4. コンクリート構造物の生産性向上技術についてのアンケート調査

4.1 アンケート内容について

- ・アンケート文に下記の内容を追加する。
 - ・所要時間の目安を示す。(10～15 分程度)
 - ・必須項目を明確化する。
 - ・アンケート結果の公表方法:「学協会での発表を予定しています。」
- ・1 章 1 節(1)の業種から「大学・高専・教育機関」の選択肢を削除する。
 - 施工分野の研究者は少ないと考えられるため
- ・1 章 1 節に「資本金」,「専門部署の有無」の設問を追加する。
- ・「新型コロナウイルス感染症拡大により,どのような影響がありましたか?」の設問を追加する。
- ・3 章 1 節の各項目は3 事例とする。
- ・3 章の「対象構造物は何ですか?」の設問を全て削除する。
 - 生産性向上は施工分野のみではないため
 - ⇒「施工フローのどの段階で生産性向上を実施しましたか?」の設問を追加する。
システム, 設計方法, 施工全般, 材料, 生コン生産・運搬, 準備工(鉄筋・型枠),
打込み・締固め, 打継ぎ, 均し作業・仕上げ, 養生, 災害復旧
- ・ご連絡先でプルダウン式にできる箇所は修正する。

4.2 アンケート依頼先について

- ・返信率を考慮し, 絶対数が多くなるような依頼先を検討すると良い。
 - 参考:「コンクリート構造物の予防保全についての意識調査」では, 20,000 人に依頼し
1,050 人から返信があった(返信率 5%程度)。アンケート結果は, シンポジウムや
冊子により公表。
- ・基幹技能者を認定している協会を目安にすると良い。
- ・協議会資料の表に関係する協会にも依頼する。
 - ・公益社団法人全国鉄筋工事業協会, 日本型枠工事業協会
 - ・一般社団法人日本建設業連合会
 - ・公益社団法人日本測量協会, 一般社団法人建設コンサルタンツ協会
 - ・一般社団法人日本砕石協会
 - ・ネクスコ
 - ・県(市町村に依頼してもらえる)
- ・JCI 年次大会 2020 広島「生コンセミナー」の提案応募者に協力を依頼すると良いのでは?
- ・JCI や土木学会でも生産性向上に関する報告書があるが, 設計に特化しており, 本協議会とは差別化を図れている。

5. 次回協議会について

日程調整し, 後日, お知らせします。

以上

8/27 構造物の生産性向上技術研究協議会（P 協議会）参加者名簿

番号	所属組織(団体)	参加者
1	近未来コンクリート研究会 代表	十河 茂幸
2	極東興和株式会社	江良 和徳
3	極東興和株式会社	北田
4	極東興和株式会社	森
5	(一社)コンクリートメンテナンス協会	徳納 武使
6	バルチップ株式会社	森宗 義和
7	福留開発株式会社	横田 昭彦
8	下松アサノコンクリート株式会社	吉田 真琴
9	株式会社 CORE 技術研究所	廣河 了亮
10	一般財団法人広島県環境保健協会	久保 隆
11	東建設株式会社	大本 諭
12	株式会社まるせ	砂田 栄治
13	広島工業大学	坂本 英輔